

愛媛に芝のサッカー場を！地域参加型天然芝育成計画 ～宮城県塩竈市 塩竈 FC を訪ねて～

愛媛サポートクラブ
代表 和泉 逸平

2006年7月25日、仙台市ユアテックスタジアムで行われるベガルタ仙台ー愛媛 FC の試合に合わせて、塩竈市の社団法人塩竈 FC を訪ねました。昨年10月愛媛に J チームを作る会主催によるシンポジウムの基調講演をお願いした同法人理事長の小幡忠義氏に天然芝のグラウンド作りについてお話を伺ってきました。

1. 社団法人塩竈 FC (<http://www5b.biglobe.ne.jp/~shiogama/>)

昭和39年サッカー少年団として設立。平成8年社団法人化。ドイツのスポーツシューレをモデルに地域参加総合型スポーツクラブ運営を目指している。自前の伊保石牧場グラウンドをはじめ、ワールドカップが行われた宮城スタジアム、南宇和高がインターハイ準優勝した宮城県サッカー場、遊水地公園等芝のグラウンドの管理も受託している。

平成18年スポーツターフの第一人者松本栄一（J ヴィレッジターフコーディネーター）氏とともに NPO 法人日本スポーツターフを設立、校庭の芝生化に取り組んでいる。

2. 芝のグラウンドはお金がかかる！

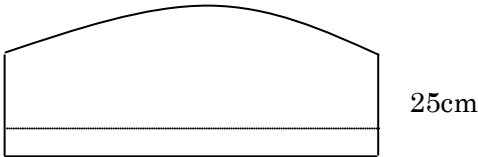
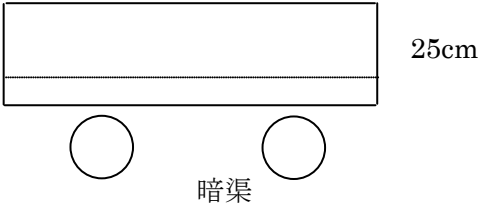
社団法人塩竈 FC は宮城県及び塩竈市より芝のグラウンドの管理運営を委託されておりますが、ボランティア及びクラブ員の協力により業者の3分の1の経費で賄っているそうです。芝のグラウンドはお金がかかるという誤解が芝文化の定着を遅らせているそうです。

3. 経費のかからないグラウンド作り

塩竈 FC のメイングラウンドであります、伊保石牧場グラウンドは隣の牧場で約100頭の牛の放牧を行っており、牧草育成を応用した天然芝育成ノウハウの再構築を行っています。牧草とスポーツターフの種が一緒だったことも牧場グラウンド芝生化の大きな力になっていると聞きました。また農機も牧場のものを流用しています。

ただし、塩竈 FC のグラウンド作りで注目すべきところは、平成15年よりの芝生化のノウハウにより、より経費のかからない方法を模索しているところにあります。地域、プレーヤー、ギャラリーが参加してみんなで管理している点は小幡理事長のお人柄によるところが大きく難しい面もありますが、施設に魂を吹き込むという点で長く維持管理するためには利用者だけでなく地域の共有財産として認識する必要があると思います。

4. 塩竈 FC が提案する練習場（校庭）の芝生化

	
小幡氏が提唱する理想の練習グラウンド	現在の伊保石牧場グラウンド

床土作り（深さ 25 cm～30 cm の攪拌、土壌改良、プール化）

ピッチ部を 25 cm～30 cm 掘り返し、堆肥及び石灰により土壌改良します。

芝の強さは根の長さによるそうです。根を長く伸ばすため 25 cm から 30 cm の深さで床土を作ります。根を下に伸ばしていないと剥がれやすく再生しづらいそうです。またこの土壌の深さが保水を行い、無駄な散水が不要になります。上記左図で上部がかまぼこ状になっているのは、許容量以上の水量は表面排水させるためです。

※暗渠は不要

伊保石グラウンドは水はけを良くするため、暗渠が入っていますが、芝生化すると暗渠の部分から枯れてしまうそうです。これは暗渠によって必要な肥料や水分が排出されてしまうためだそうです。（芝は表面が枯れても根は死なない）



暗渠を埋めているところ



暗渠部分から枯れてしまう



1日の雨で再生



25 cm の堆肥部分が雨による水分を調整する。（左クレー、右芝・同日撮影）

5. 経費をかけないキーワード

1) 管理はボランティア

伊保石牧場グラウンドの管理は1名で、タクシーの運転手さんが空いている時間を使って行っています。趣味の延長感覚で行っておられます。

2) 水はやらない

25cmの堆肥部分が天然のプールになっており、散水することは基本的になく、自然の雨のみで管理しています。また芝部分が枯れてきても1日適量の雨が降れば翌日には再生されます。これは芝の特性で根を枯らさないために養分を草部に持っていかないためだそうです。

3) 根を育てる

水をやらないことで根が地中深くまで根を伸ばします。根を伸ばすことで強い芝が育ちます

4) 株で育てる

株ができることで横にも根が張っていくそうです。さらに強い芝に育ちます

5) 雑草は選手と親で空いた時間に

試合の合間や、ウォーミングアップ、クールダウン時にギャラリーも含めて草取りをしたり、芝のはげた部分に砂を入れたりしているそうです。芝のはげた部分は根が乾くと死んでしまうのでできるだけ早く砂を入れてあげることが重要だそうです。また芝の管理に参加することでグラウンドを大事にするそうです。

6. 芝生化することのメリット

サッカーの公式戦が芝のピッチで行われるから芝のピッチが必要ということは寂しいものです。芝の良さはまずは色、緑の絨毯を見るだけでも癒されます。また、子供が芝生のピッチにきてまずやることは寝転がることだそうです。クレーでは絶対にありえません。怪我のリスクも大幅に軽減します。地域の方にとっても砂埃がなくなります。

7. 愛媛で行うために

まずは本当に費用をかけずに愛媛でできるか検証が必要かと思います。協力者を募り、農家やゴルフ場、公園(貯水池)等空きスペースを使って行ってみたら良いと思います。